

令和2年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 3 年 5 月 25 日 作成

事務事業名	放置竹林対策事業（竹粉碎機貸出事業）	外部評価の状況	事務事業No.	412 - 30
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	農林振興課	農林振興係	主任	檜木 啓文	課長	村上 光
施策体系	総合計画	政策	4	地域経済		
		施策	1	農林業の振興		
		基本事業	2	農地や森林の多面的機能の維持		
	その他の計画	個別計画	-			
根拠法令・条例・要綱等	なし					
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	-	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	従来の施策では対応が追いつかないために里山の荒廃や放置竹林面積の増加等といった地域課題がある。その解決のために森林整備基金を活用し、竹粉碎機を導入し、市民団体や市民の方々へ貸し出し、活動支援を行うことで里山林保全や竹林整備につなげようとするもの。					
対象	働きかける相手・もの	竹林を整備しようとする市民団体及び市民				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	竹粉碎機貸出事業の周知及び竹粉碎機の貸出				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	市民に竹粉碎機を貸し出すことによって放置竹林の整備を進める				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
竹粉碎機貸出回数	回	貸出を実施した回数（R2年度は10月から半年間の実績）	-	13	15
事業の周知	回	市報や市HPによる事業の周知回数	-	4	3

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
竹林伐採面積	m ²	3000	-	3000	12000
説明	方向性	達成目標年度	-	3087	
	増加	毎年度	#VALUE!	102.90%	
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	-		
			#VALUE!	#DIV/0!	
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	-		
			#DIV/0!	#DIV/0!	

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 6 農林水産業費	項 2 林業費	目 2 林業振興費			
	大 2 森林整備事業費	中 3 放置竹林対策事業費【政策】	他 - 事業				
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	区分(R1まで)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)	
	正職員	正職員	0.00 人 0	0.16 人 1,261	新規事業のため	0.08 人 631	
	任期付職員(保育士)	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	任期付職員(CW・水質)	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用フル	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用短	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	嘱託職員	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	臨時職員	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
		2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	人件費計(A)			0		1,261	
事業費	直接事業費(B)		0	1,257			2,143
	総事業費(A+B)		0	2,518		2,774	
直接事業費のうち の主な歳出内訳	備品購入費		0	1,117		1,553	
	需用費		0	81		509	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0	0		0	
	国・県支出金		0	0		0	
	市債		0	0		0	
	一般財源		0	1,261		631	
その他(森林整備基金)				1,257		2,143	

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	地域住民による竹林整備等を目的とした事業の支援を行う竹粉碎機貸出事業であるため。
	目的の妥当性	妥当	市民活動支援を目的としており妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	貸出対象者は市内居住者すべてである。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	現在は市職員で貸出や管理を実施しているが、貸し出し件数が多く、竹粉碎機の稼働率が高いことから、今後メンテナンス費用の増大、貸出業務の負担増が予想される。今後の運営について検討が必要である。
	負担割合の適正化	適正	無料で利用可能であるが、竹粉碎機の運搬や使用する燃料費は受益者が負担している。
	手段の最適性	検討の余地あり	現在は市職員で貸出や管理を実施しているが、貸し出し件数が多く他事業へ影響も出ており、貸し出し方法については更なる検討が必要である。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	貸出事業を行っていることが認知され始め、貸し出し件数が多くなった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	事業を実施しなければ伐採されることのなかった竹林が整備されており、上位施策に貢献できている。
	事業継続の有効性	ある	貸出事業を継続することで、放置竹林整備につながる。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	
なし	なし	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入

-

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】	事業を実施することにより、放置されていた竹林の整備が進んだ。
【課題】	操作講習会を複数回実施するなどの安全対策を講じる必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充	④	②	①	評価区分	事務事業の方向性
	現状維持					
	縮小	⑥			一次評価	①コスト・成果ともに拡充
	休・廃止	⑦			二次評価	①コスト・成果ともに拡充
コスト投入の方向性						

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	市ホームページ等での制度周知
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	竹粉碎機の追加導入

評価変更理由	担当課は記載しない。
--------	------------